

## 2008年度 早稲田大学大学院教職研究科入学試験

(一般入試：筆記試験(教職教養))

# 問題用紙

### 注意事項

1. 問題冊子および解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は、2～4ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 受験番号および名前は、試験が開始してから、解答用紙の所定欄に正確に記入すること。  
なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に正確に記入すること。  
受験番号は以下の例のとおり、数字で記入すること。

(例) 10001 番 ⇒

万	千	百	十	一
1	0	0	0	1

4. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
5. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記具を置くこと。終了の指示に従わずに解答を続けた場合は、答案の全てを無効とするので注意すること。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

問1. 以下の文章の空欄（A）～（C）にあてはまる内容を選んで、該当する解答欄に記号を書きなさい。

近代公教育制度は、（A）を原則とし、イギリス、フランス、ドイツ、アメリカなどの諸国では、（B）前後に完成された。それは、一方において教育の機会均等を実現し、子どもの教育を受ける権利を保障・拡大するものであったが、（C）に適応する能力や態度を国家的に育成し、子どもたちを階層的に選別するための機能を果たしてきたとも指摘されている。

- （A） ア. 義務・無償・宗教的中立  
      イ. 義務・無償・平等  
      ウ. 義務・平等・宗教的中立
- （B） ア. 1850年   イ. 1900年   ウ. 1950年
- （C） ア. 産業社会   イ. 国際社会   ウ. 情報化社会

問2. 以下は、日本の教育法規の一部である。（        ）に入る適当な語句をア～シの中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。

- （1）法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める（        ）のみが、これを設置できる。
- （2）法律に定める学校の教員は、自己の崇高な（        ）を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。
- （3）校長は、校務をつかさどり、所属職員を（        ）する。
- （4）校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、（        ）を加えることはできない。
- （5）小学校においては、文部科学大臣の（        ）を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。

- ア. 体罰           イ. 監督           ウ. 教育委員会   エ. 検定  
オ. 使命           カ. 職務           キ. 法人           ク. 懲罰  
ケ. 資質           コ. 能力           サ. 認可           シ. 管理

問3. 次の①～⑤の説明文の中で正しいものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①寺子屋は江戸時代に発展した庶民の教育機関であり、「四書」や「五教」を中心に学んだ。
- ②教育令は1872(明治5)年に頒布された日本で最初の近代学校制度に関する法令である。
- ③森有礼は初代文部大臣として、小学校令・中学校令・師範学校令等の制定に尽くした。
- ④1903(明治36)年に小学校教科書を文部省が著作する検定教科書制度が確立した。
- ⑤1907(明治40)年に小学校の修業年限は4年となり、戦前の義務教育年限が確立した。

問4. 次の①～⑤は、戦後の教育に関する事項を組み合わせたものである。組み合わせとして誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①教育刷新委員会＝アメリカ教育使節団
- ②教育を受ける権利＝日本国憲法第26条
- ③6・3・3・4制＝複線型学校体系
- ④学習指導要領(1947年)＝コース・オブ・スタディ
- ⑤地方教育行政の組織及び運営に関する法律＝教育委員会

問5. 次の①～⑤の説明文の中で誤っているものを1つ選び、解答欄に番号を書きなさい。

- ①1947(昭和22)年から発足した新制中学校により初めて9年の義務教育制度が確立した。
- ②1949(昭和24)年から、戦後の検定教科書の使用が開始された。
- ③学習指導要領が「告示」として出されたのは1951(昭和26)年からである。
- ④1963(昭和38)年に義務教育段階の教科書の無償制度が確立した。
- ⑤「生きる力」を育むことを目的とし、2002(平成14)年度から完全学校週5日制が実施された。

問6. 以下の3つの問いについて、あてはまる記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) 「来談者中心療法」を創始した心理学者を選びなさい。  
a. ユング b. マズロー c. フロイト d. エリクソン e. ロジャーズ
- (2) 児童期の特徴を表す概念を1つ選びなさい。  
a. 防衛機制 b. アニミズム c. 具体的操作期 d. 自己中心性  
e. アイデンティティ
- (3) テストが測定しようとしているものを実際に測定しているかどうかを表す概念を1つ選びなさい。  
a. 信頼性 b. 妥当性 c. 内的整合性 d. 一貫性 e. 恒常性

問7. 以下の(A)～(D)のそれぞれの領域について、いずれかの用語を選び、その意味を解答欄に書きなさい。なお、解答用紙の該当欄に、選んだ用語をそれぞれ記入すること。

領域 (A)

- 学習指導要領
- 産婆術

領域 (B)

- 大正自由教育（大正新教育）運動
- 開放制の教員養成

領域 (C)

- 学級編制
- 初任者研修

領域 (D)

- 適性処遇交互作用
- 第二反抗期